



あおばだより

社会福祉法人 青森県すこやか福祉事業団 ライフサポートあおば

〒030-0846 青森市青葉 2 丁目 2-2 TEL 017-752-0560

第 16 号
発行日 27 年 1 月 30 日

目次

所長あいさつ	P1
特集	P1
活動のあしあと	P2
研修報告	P3
職員の動き	P4
苦情解決状況	P4
お知らせコーナー	P4

法人の経営理念

安定した経営基盤を構築し、利用者一人ひとりの生活を大切にするサービスの提供に努めます。



所長あいさつ

ライフサポートあおば 所長 こがわ たくじ 古川 卓司



新年明けまして おめでとうございます

昨年中はあおばの各事業につきまして、御協力、御指導等をいただき誠にありがとうございました。職員一同深く感謝いたしております。

さて、今年は給付費の報酬改定の年となります。報酬単価については新聞等でいろいろ報道されおり、どのようになるかはわかりませんが、今後も優秀な職員を確保し、利用者の方々へのサービス向上を図りたいと考えています。報酬改定は法人の経営にも影響してきますので、良い条件での報酬改定となるように期待しています。

また、昨年 12 月青森市浜館地区に地域密着型の特別養護老人ホーム「すこやか苑」を定員 29 名、短期入所 10 名として開所いたしました。法人内では初めての介護保険関係の施設となります。法人としての大きなニュースですので、皆さんにお知らせしたいと思います。

平成 26 年度も残り 3 ヶ月弱となり、何かと忙しい時期となりますが、利用者の方々によりよいサービスを提供できるよう努力していく所存ですので、今後ともライフサポートあおばをよろしく願いたします。



特集；保育園巡回について

ライフサポートあおば 主任支援員 前中 貴次

ライフサポートあおばでは、保育園や親御さん等からの依頼を受け、保育園等への巡回を行っております。内容は、気になるお子さんへの対処についての指導・助言は勿論、保育士さん向け学習会等です。（本来の趣旨は、保育園等での対応への助言・指導です。）

私たちは、児童発達支援や放課後等デイサービスを実施する「療育機関」ではありません。現状ではまだまだ療育機関が必要です。それは、まだまだ世の中にはちがいを認めない、偏見や差別が根深くあり、これによって傷ついたり傷つけたり、元気をなくしてしまうお子さんもいます。

しかし本来は、誰もが困らず、ちがいが受け入れられることが理想です。そこに“手帳”や“受給者証”がなくても、療育機関が存在しなくても、自然にフォローされる。これには、地域づくり、街づくり、教育分野の改革、さまざまな改革も必要かもしれません。

その人の特定分野の能力や文化・価値観のちがいによって、地域からはじき出されてしまう社会は、本当に豊かな社会と言えるでしょうか。対象となるお子さんも、対象とならなかったお子さんも、互いに豊かな生活が送れるよう、私たちも、できる範囲ではありますが、持ち得た知識や技術、経験を踏まえ、一緒に取り組んでいきたいです。

詳しくは、担当者までお問い合わせください。



活動のあしあと ～各事業からの報告～



「俺が撃つ。お前は弾を込める支援をしろ！」「OK！」
YES 装弾支援。

相談業務をしていると、様々な場面で理想と現実の狭間に立たせられます。それは、「競生」と「共生」の狭間と云うべきでしょうか。

確かに、力を競い、伸ばすことは教育上も必要な事かと思われます。

しかし、人を傷つけ、陥れ、踏みにじることが正しいとは思えないわけです。

その被害に遭うのは、往々にして力を発揮できない状況にある方たちです。彼らは力がないわけではありません。力を発揮できない状況にあるだけです。

相談支援は追求すれば追求するほど、
どんどん業務も増え、煩雑になります。

しかし、私たちの働きがきっかけとなり、力を発揮できる状況になる人が増えることに、業務の実感があります。

相談支援事業所
あおば

明けましておめでとうございます。

冬期間になり、現在の活動は温泉とスケートがメインとなっております。私事になってしまいますが、昨年に比べるとスケートの腕前も上達がみられ、利用者さんと一緒に楽しんで滑走ができるまでになりました。初めは生まれたての子鹿状態でどうなるかと思いましたが・・・(^_^;)

スケート・温泉に限らず、活動時に笑顔を見せてくれる瞬間は本当に支援者として、やりがいを感じさせて頂いております。地域での活動ですと、思いがけない出来事は付き物となってきますが、どんな環境であっても利用者さんが安心して活動できるサービスを提供できるようサービスの質の向上に努めていきたいと思っておりますので本年もよろしくお願いたします。

行動援護事業所
あおば

今年度が始まり4月から12月まで9ヶ月間、デイあおば内ではいろいろな出来事がありました。たくさんの方の成長がありました。様々な行事や集団活動ごとにみんながスキルアップしている姿が目に見えて実感します。今年度も残り3ヶ月間となりました。年長さんは小学校に向けて、年中・年少さんは来年度のステップにつなぐため充実した生活を過ごしていけるよう支援していきたいと思っております。



【10月に行われたあおばで初めての徒歩遠足】

デイサービスセンター
あおば

明けましておめでとうございます。

スゴイ雪ですね…。

12月に入ってから、毎日雪かきで汗を流しております。



久々の「あしあと」。夏休みの出来事を紹介します。

ボランティアさんや実習生さんと外出レクを行いました。とても暑かった…そんな中、お子さんたちが広々とした公園で汗を流し、砂漠のように給水する姿は、とっても開放的でした。

これからも、お子さんの様々な場面で、お子さんの様々な表情を見守っていきたくと考えております。

デイサービスセンター
すこやか



研修報告

TEACCH5day トレーニング

デイサービスセンターあおば

副主任支援員 米澤 有美

8月に『2014年 TEACCH 5日実技トレーニング』に参加してきました。TEACCH 5日実技トレーニングは、自閉症スペクトラムを持つ個人の協力のもと、両親や専門家のためのトレーニングプログラムであり、アメリカのノースカロライナ州で行っている総合的なプロ認定のプログラムです。実際に自閉症を持つ4人の子供たち・青年たちに実技・実習に協力していただき、受講生は全25名の自閉症スペクトラムの支援の専門家であり、5人で1チームとなりTEACCHのエビデンスに基づく実践を学びました。

研修では、構造化についての講義と並行しながら実践場面での指導が行われたため、常に毎日アセスメントと構造化をし、自立課題・コミュニティ・コミュニケーション・社会性・余暇活動のそれぞれの領域において自立・般化を意識した指導を行いました。

この実技トレーニングでの学びは、様々な方略はもちろんですが、自閉症スペクトラムの方々にとってのTEACCHに学ぶ視覚支援・構造化の重要性を改めて実感し、自閉症支援に対する価値観を高めることができました。海外講師であるジョイスの言った『最大限の構造化で最小限の介入』という言葉が印象的でした。

自閉症カンファレンス NIPPON

デイサービスセンターあおば

支援員 今 美穂子

今回、初めて自閉症カンファレンスNIPPONの研修に行かせて頂き、感謝しています。講演や研究発表を聞いて、特に、当事者の方のお話が一番印象に残りました。その方は、前日にご自身でスケジュールを立て、翌日、そのスケジュールをこなすということをご自身の気持ちを含めてお話されていました。当事者の方の生の声を聴くことができたのは貴重であり、スケジュールの重要性を感じました。

また、コアバリュ-2014という自閉症の方の支援をするにあたっての講演で、「正直であること」というお話がありました。支援をしていくに当たり、報告・連絡・相談が欠かせません。その際、どんな状況であっても、正直に報告することで次のステップへと踏み出すことができます。そのことを意識して、これからも支援に励んでいきたいと思えます。

PECS レベル 1 ワークショップ

支援員 新岡 奈々

平成26年8月9日～10日、青森観光物産館アスパムで開催されたピラミッド教育コンサルタントオブジャパン主催のPECSレベル1ワークショップを受講しました。

今回の研修で、講師の方が言っていた「支援者が教えたことを教えているのはいけない」という言葉が強く印象に残りました。私は今まで研修会に参加すると、学んだことをすぐに実践に移していきたいという思いでしたが、その気持ちだけでは実践してはいけないと強く感じました。やはり、支援する対象者が今にどんなことができそうなのか、逆にどんなことを課題としているのかを探った上で、対象者さんに寄り添った視点で支援していくことが重要だと感じました。

支援者がやらせたいことをやることは、ただの自己満足にしか過ぎないからです。よりよい支援へ繋げていけるよう、研修で学んだことを忘れず、支援現場へ活かしていきたいです。

法人内専門分野別研修 or 実務研修

支援員 水木 健仁

私は、今回、八甲学園地域就労支援課の方に実務研修集に行かせていただきました。今回の研修を通して就労継続、就労移行支援事業を通して一般就労へ繋げるためには、何が必要で、どういった支援や取り組みが必要なのかという新たな疑問を持つことができました。利用者が将来、就労をする上で、どのような支援をしていくことが求められるのでしょうか。就労場面において放課後等デイサービスがやるべきことは、就労においておこなっている作業を行うことだと私はイメージをしていました。しかし、本当に大切なのは予定確認の習慣であったり、対人コミュニケーションなどのソフトスキルの面だと感じるようになりました。今回の研修で感じた事や経験を活かし日々の業務や支援に取り組ませていただきたいと思います。



苦情解決状況

苦情解決についてです。平成 26 年 8 月から 12 月までの 5 ヶ月間、挙げられた苦情は 0 件でした。ライフサポートあおばでは、苦情解決責任者（所長）を中心に、苦情解決第三者委員等を含めて構成される「苦情解決委員会」を実施し、よりサービス提供ができるよう検討を進めているところです。また、満足度調査等のアンケートを通じ、皆様のご意見から、内容の見直しをしています。そのためには、皆様からの貴重なご意見を募らせていただいております。忌憚のないご意見、よろしくお願いたします。同時に、見学・説明の依頼も受け付けておりますので、各事業担当者までお問い合わせください。

苦情受付件数
0 件
平成 26 年 8 月
～平成 26 年 12 月

職員の動き

お疲れ様でした。

<退職職員>

デイサービスセンターあおば 石川 千秋
平成 26 年 11 月 8 日付退職
行動援護事業所あおば 平井 甲
平成 26 年 9 月 30 日付 なつどもりへ異動
デイサービスセンターすこやか 鈴木 万希子
平成 26 年 10 月 16 日から産休→退職

よろしくお願いたします。

<着任職員>

デイサービスセンターすこやか 外崎 正子
平成 26 年 10 月 14 日付 新採用
デイサービスセンターすこやか 工藤 佳大
平成 26 年 12 月 1 日付 新採用
デイサービスセンターあおば 藤田 奈津美
平成 27 年 1 月 1 日付 新採用

<配置替え>

行動援護事業所あおば 秋元 大志
平成 26 年 12 月 1 日付 デイサービスセンターすこやかから配置替え

ライフサポートあおば

ホームページ

<http://lifesupportaoba.web.fc2.com/>

<青葉地区（本体）>

〒030-0846 青森市青葉 2 丁目 2-2
相談支援事業所あおば・行動援護事業所あおば
TEL 017-752-0560

Blog <http://ameblo.jp/life-support-aoba/>

デイサービスセンターあおば

TEL 017-752-0562（デイ直通）
Blog <http://ameblo.jp/dsc-aoba-aomori/>

<千刈地区>

デイサービスセンターすこやか
〒038-0015 青森市千刈 1 丁目 15-17
TEL 017-762-7570
Blog <http://ameblo.jp/dsc-sukoyaka-aomori/>

ライフサポートあおば基本理念

- 1 本人と家族の思いを大切にし、共に歩みます。
- 2 みんなが普通に暮らしていけるよう、地域との架け橋になります。
- 3 支援の輪を大きくするために、職員同士、関係機関と協力し合います。

